



〒892-0841  
鹿兒島市照国町13-42  
カトリック鹿兒島司教区  
電話099 (226) 5100  
振込口座 02030-2-8359  
編集発行 教区広報部  
1部60円年間千共1100円



# 逼迫する教区財政の立て直しを模索

## 今年の教区経済問題評議会

5月8日(日) 教区本部で開かれた教区経済問題評議会では、2015年度の教区会計が「教区財政緊急募金」を設けなければやりくりできなくなった2006年度と同じように逼迫しているのを受け、小教区における教会維持費増収の必要性だけでなく、維持費に代わる新しい教区費の徴収の仕方やその目標額の設定、加えて「広報部と連携し教区会計の現状を信徒に分かりやすく説明する必要性が高まっているのでは」という見通しを立てた。

午後2時から始められた経済問題評議会では、まず泉浩二神父(教区会計部長)から2015年度の決算、2016年度の予算案が報告され、それらを10人の委員たちで審議した。決算、予算とも概ね承認されたが、決算・予算書に現れた教区会計の現状は逼迫したものだった。

泉神父の報告によると、教区会計収入の根幹をなす各小教区における教会維持費がもととなる「教区費収



教区会計の立て直しを検討する委員たち

入(教区司祭担当教会は維持費の30%、修道会司祭担当の教会は維持費の20%)は、1850万円余り。これに教区司祭担当教会からのミサ献金収入(700万円)を加えても、教区司祭や教会職員に支払う給与と法定福利費を加えた「人件費」(4000万円)には遠く及ばない現状のことだった。また、2016年度の予算では次年度(2017年)への繰越金が230万円余りで2015年度の繰越金から1300万円の減となることから、「教区財政緊急募金」を始めるに至った。2006年度と同様に速やかに教区会計改善に取り組みべきだとの意見で一致した。集まった委員たちからは、各小教区における教会維持費増収のための努力や工夫が報告された一方、教会維持費を納入しているのは高齢者ばかりで若い世代

を募ること、また所属信徒数によって目標額を設定し、その目標額達成のために各小教区で努力するための意見があったが、実施のためには各小教区における信徒の年齢構成や就労について、また家族構成に至るまでの詳しい分析が必要との意見もあり、今後の検討課題となった。

委員たちが同じように口を揃えたのは、教区会計のありのままの姿が信徒に伝わっていないこと。簡略化した決算報告書を作成し、教区報等を通じて知らせるべきとのことだった。その上で、教区司祭たちが祭儀費などを全額プールし同額

に教会維持費を小教区に入れるという感覚が欠如している現状などが報告され、教会維持費に代わる教区費徴収の手段を講じるべきとの意見も出された。

### 聖遺物を顕示

ザビエルと聖心、母間で

聖ファウスチナと聖ヨハネ・パウロ二世の聖遺物を6月中、鹿兒島教区で借り受ける。具体的には、巡礼教会に

指定されているカテドラル・ザビエル、名瀬聖心、母間の三教会で顕示される。カテドラルでの顕示は次の通り。

6月5日(日)、26日(日)、いずれも朝9時のミサ後30分、祈りをした後17時まで顕示。名瀬聖心は12

時まで顕示。名瀬聖心は12

### 熊本地震被災者支援 ボランティア募集開始

福岡教区は「カリタス福岡・熊本支援センター(通称・くまセン)」を開設し、5月9日からボランティア募集を開始したと、ホームページに掲載しました。ご希望の方は申込手順、募集要項を確認のうえお申し込みください。

尚、電話でのお問い合わせは、TEL080 (2703) 0266 (受付時間は8時から19時)。

支援物資に関しては福岡教区・熊本地震被災者支援センターにお問い合わせください。TEL 080 (1761) 4150

### 2016年カウンセリング講座日程

| 回    | 月  | 日  | 曜 | 講師      | 内容                    |
|------|----|----|---|---------|-----------------------|
| ※    | 6  | 18 | 土 | 事務局     | 説明会 14時と19時(2回)       |
| 第1回  | 6  | 24 | 金 | 竹山 昭神父  | 共に歩むためにI              |
| 第2回  | 7  | 1  | 金 | 大坪治彦先生  | カウンセリングの基礎知識I         |
| 第3回  | 7  | 8  | 金 | 大坪治彦先生  | カウンセリングの基礎知識II        |
| 第4回  | 7  | 15 | 金 | 大坪治彦先生  | よい聴き手となるためにI          |
| 第5回  | 7  | 22 | 金 | 大坪治彦先生  | よい聴き手となるためにII         |
| 第6回  | 8  | 1  | 月 | 森口 達先生  | アルコール依存症-その関わりI 公開講座  |
| 第7回  | 8  | 8  | 月 | 森口 達先生  | アルコール依存症-その関わりII 公開講座 |
| ※    | 8  | 26 | 金 | 事務局     | 懇親会                   |
| 第8回  | 9  | 2  | 金 | 今林俊一先生  | 家族の人間関係               |
| 第9回  | 9  | 9  | 金 | 今林俊一先生  | 青少年の心理I               |
| 第10回 | 9  | 16 | 金 | 今林俊一先生  | 青少年の心理II              |
| 第11回 | 9  | 23 | 金 | 郡山健次郎司教 | それでも「きぼうの電話」          |
| 第12回 | 10 | 7  | 金 | 事務局     | 電話カウンセリングの実際①         |
| 第13回 | 10 | 14 | 金 | 有倉巳幸先生  | 職場の人間関係               |
| 第14回 | 10 | 21 | 金 | 有倉巳幸先生  | 人間関係の中のストレス           |
| 第15回 | 10 | 28 | 金 | 大坪治彦先生  | よい聴き手となるためにIII        |
| 第16回 | 11 | 4  | 金 | 大坪治彦先生  | よい聴き手となるためにIV         |
| 第17回 | 11 | 11 | 金 | 事務局     | 電話カウンセリングの実際②         |
| 第18回 | 11 | 18 | 金 | 竹山 昭神父  | 共に歩むためにII             |
| 第19回 | 11 | 25 | 金 | 竹山 昭神父  | 共に歩むためにIII 修了式・認定式    |
| 第20回 | 12 | 2  | 金 | 事務局     | 電話カウンセリングの実際③ 懇親会     |
| ※    | 12 | 9  | 金 | 事務局(研修) | 新人オリエンテーション①          |
| ※    | 12 | 12 | 月 | 事務局(研修) | 新人オリエンテーション②          |

### きぼうの電話が カウンセリング講座

の給与で生活している鹿兒島教区では、せめて教区費収入で人件費をまかなえる程度に増収させたいとの意見で一致した。

このほか会議では、教区会計が困窮する今年の冬あたり特定預金の取り崩しをすること、聖心教会の改修工事のために基金から貸付けることなどについても了承された。

日(日)、母間は19日(日) 顕示される予定。詳細は両教会へ。

### 学びの講座始まる

昨年、信徒から教区で聖書や教会の教え、または社会問題について年間を通して学ぶためのプログラムを作った。鹿兒島市内の小教区の司祭で話し合ったところ、次のように行うことに決まった。(敬称略)

- ① 誰が：主に市内の司祭(頭島、小隈、泉、竹山、アン、鈴木、萩原、末吉)
- ② どのように：毎月最終週の土曜日19時〜20時30分と翌日曜日14時〜15時30分

- ③ 場所：ザビエル教会一階ホール(使えない場合は、教区本部2階会議室)
- ④ 何を：担当司祭に一任
- 5月28、29日 鈴木「カトリックの信仰の根本」
- 6月25、26日 頭島「放蕩息子が教える御父のいくつくしみとは何か」
- 7月23、24日 小隈「現代社会を福音の視点で見ると」
- 8月：竹山 夏期講座
- 9月24、25日 アン「その

### 司祭の消息

はからいの中に生きる」  
10月22、23日 泉「神のいくつくしみを通しての召命」  
11月26、27日 末吉「煉獄の靈魂」  
1月28、29日 鈴木  
2月25、26日 萩原

▼西山達也神父(古田町教会)は養護老人ホーム聖フランシスコ園(諫早市)へ。5月10日付

# みことばを生きるとは…を探しに 中高生が恒例の長崎巡礼で得たもの

## 感想文

今年も3月28日(30日)に中高生の長崎巡礼を実施した。参加者は6人と少なかったが、それぞれに実りのある2泊3日になったようだった。今回のテーマ「みことば(呼びかけ)を生きるとは…」は少々難しかったようであるが、場所的体験、霊的体験を通して何かを感じてくれたようだ。この体験が消えることなく参加者の信仰の支えになることを望みたい。(青少年司牧担当司祭・泉 浩二)

### 国分教会 森山 天海

一日目。最初、このメンバーとなじめるかどうか不安でした。長崎に行く間、メンバーの中で話したのは、彩芽先輩と岩崎先生だけでした。ですが長崎に着き平和公園と浦上天堂を見ていく中で、ほかのメンバーと少しずつ打ち解けていくことができました。

### 吉野教会 田中 彩芽

平和公園や平和像を見たり、桜の写真を撮ったり、原爆の資料を見たりしました。移動している間、長崎の街並みを眺めながら「人ってすごいのかもしれない」と理由もなく思いました。

長崎巡礼に参加してたくさんの方に気づかされました。一日目に行った平和公園や浦上天堂では、七十年前の原爆の恐ろしさを改めて実感しました。今ある暮らしは、当たり前のものではないということを感じ、生活したいです。二日目は、中町教会、本河内教会、コルベ記念館、大浦天主堂に行つた後、時津から西坂へ、かつて二十六聖人が歩いた道を十キロほど歩きました。その何倍もの距離を二十六聖人は、どんな思いで歩いたのだらうと考えさせられました。

西坂で記念撮影



今回の巡礼のテーマである「みことば

始良教会 駒井 款  
私は、この春の中高生巡礼のテーマとなつている「みことば(呼びかけ)を生きるとは…」の意味を考へるのにとっても苦勞しました。一日目に、私は昔どのようになつたのかを知り、戦争がこのような結果を起したと思ひました。浦上天堂では、一日にミサに参加する人の人数を聞いて驚きました。平和公園では、戦争を物語るようなものや、ある少女の手帳に書か

いるのが伝わりました。二つ目は、言語がたくさんある世界でも、みことばは共通だということ。二日目に本河内教会でのミサの中で神父様から、「昔はミサをラテン語でしていたんです。でも第二バチカン公会議で、各国それぞれに言葉でミサをした方がみんな分かりやすいということから、ミサの言葉が変わりました」と教えて頂いて、言葉は変わつてもみことばは共通であり、人々の中に生きていくんだと気付きました。三つ目は、今回初めて出会う友人もいましたが、みんな祈りをささげ、みことばを聞くことで共同体としての絆が深まり、呼びかけにこたえることができるということ。最初はあまり話せなかった友人とも二日目の夜ご飯では、楽しく話すことができ、嬉しかったです。アウシュヴィツで身代りに亡くなったコルベ神父様や神様の愛を信じ歩いた末、亡くなつていった二十六聖人。彼らの生き方にならつても私も生きていこうと思ひます。

始良教会 池 優太  
私は、中高生巡礼を通してキリスト教の歴史、そしてコルベ神父様の偉大さ、ロザリオの祈り方などを知り、学びました。コルベ神父様はえらい方なのに、一人のいのちを救うために自分が身代わりになり、聖書の通りすばらしい生き方をした偉大な方だと知りました。教会の歴史の言葉を信じ、絶望することなく生きていくことだと思ひました。

谷山教会 坂元 豪  
一日目は、皆で浦上天堂、平和公園に行きました。七十年前に落とされた原爆の脅威、平和の大切さに気づき、今自分がとても恵まれていることが分かりました。二日目は、本河内教会のルルドでロザリオをし、その後ミサをしました。そこで聞いたコルベ神父の話を聞き、友の大切さを知りま

谷山教会 坂元 豪  
二つ目は、この遺産を残すために、たくさんの人たちが犠牲になり、苦しんだこと。コルベ記念館を訪れた時は、コルベ神父様一人の人間の身代わりになり、命を落とされたこと。二十六聖人記念を訪れた時は、京都から長崎まで歩き、二十六人のキリスト教信者が処刑にされたことを知りました。この人たちの活躍がなければ、今のキリスト教はおそらくここまで栄えなかつたと思ひました。だから私たちは、この人たちの犠牲の上に立っているキリスト教信者といつてもいいほど、偉大なことなんだと思ひます。最後に、私たちは神様を「伝える」といふことばと、たくさんの人々の犠牲がなければ、神様のことや二十六聖人のことも知ることができなかつたと思ひます。だから「みことば(呼びかけ)を生きるとは…」このことだと思ひます。なのでこれからは、このテーマを忘れずにいろいろな目で、神様のことを知りた

とだけ体験して、どれだけつらいことかわかりました。最後に、私が思う「みことば(呼びかけ)を生きるとは…」コルベ神父様のように神が望むように、そして聖書の通り正しい道を歩み、生きることだと思ひます。

**いつくしみの特別聖年**

**障がい者と共に捧げるミサ**

6月12日(日) 受付14時30分 ミサ15時

(手話通訳士がお手伝い。車椅子での参列可)

ミサ後に交わりの茶話会もあります。多数の参加をお待ちしています。

主催 鹿兒島教区障がい者の会(パッシヨンの会)

# 研修とミサで地域力を強める

## 薩来園で恒例の北薩信徒大会

聖霊降臨の主日の5月15日(日)、恒例の「北薩信徒大会」が障害者支援施設「薩来園」(薩摩川内市入来町副田)で開かれた。



レデンプトール会が担当している北薩地区の信徒たちが一堂に会し、研修と交流で地域の力を強めようと長年開かれていた。今年も「絶えざる御助けの聖母の取次ぎ」によって、全世界が真の神を知ることができま

すように」が掲げられ、記念講演とミサ、聖体賛美式があった。午後1時30分から始まった大会は記念講演からのスタート。レデンプトール会のジラール・ジャン・レイモンド神父が絶えざる御助けの聖母面授と150周年にあたることから、その

いつくしみのアイコンについて講演した。その後のミサで説教した郡山司教は、聖霊降臨について解説、「今の世では聖霊を受けたからといって私たちが劇的に変化することはないと思う。私たちに必要なのは光。私たちが暗闇にある時に神が光を下さる。光があると私たちは希望を持ち、ひらめきを感じる。これが小さな聖霊降臨。そして聖霊は小出しに私たちに働きかけ、私

たちを生かすときとさせようとしている。聖霊は私たちをこだわりから解放し、本気にさせようとする。この働きにこたえるには、聖霊の呼びかけに真剣に向き合わなければならない」と信者たちを励ました。ミサ後は、聖体賛美式があり大会を締めくくった。

## 教区をあげて偉業を称えよう

### 今年のザビエル上陸記念祭

ザビエル上陸記念祭を準備している実行委員会は、今年のザビエル祭について

次のように発表し、多くの信徒の参加を呼びかけている。それによると今年のザビエル上陸記念祭は、例年通り、聖フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸した8月15日(月)にザビエル教会で実施される。

## 司教執務室便り

### 教会の歴史をたどる



最近よく耳にするようになったドロイン。元の意味は英語でミツバチのオスのことだそうで、辞書を引くと「ブーンという音」とあって、「無線操縦無人機」とあった。最近では、遠隔地への宅配便に利用したい業者もいると聞いた。

そんな優れたもののドロインが、一気に身近なものに感じられることになった。故郷の教会の信徒から七つの教会をドロインで撮影したのでブログに載せてほしいという連絡を受けたのは先月半ば。まったく思いがけないことで驚いたが、早速閲覧できるようにしてもらったのは言うまでもない。「各教会にコメントをつけたらもつといい」というので早速編集作業に入った。奄美宣教百周年記念誌「カトリック奄美100年」を参考に数行ずつコメントを付けた。

図らずも、故郷奄美の百年の宣教の歴史をたどることになり感慨深いものがあった。興味深かったのは、安木屋場宣教

嘉渡のボネ神父様のもとに、「安木屋場でも是非」という宣教の依頼が来たのが一九一〇年(明治四三年)六月。しばらくして、その月のうちに、今度は住民の三分の二にも上る人々の願いが届いたという。しかし、実際に始まったのはその年の十月。信仰の話をやると聞くことができた安木屋場の人々の喜びはいかばかりだったことか、目に浮かぶようだ。百六年前のことだ。七つの教会の歴史をたどると興味深いエピソードがあることが分かる。今回は、たまたま自分の故郷の教会だけになったが、各教会で記念誌をひも解き、献堂記念日だけでなく、福音の種が最初にまかれた記念の日を確かめたいと思う。そして、全教区に発信し、少なくとも近隣の教会に呼びかけて先人の働きを顕彰するミサを捧げる集いを持つことを提案したい。先人たちが残した信仰の恵みに感謝し合うのは私たちのために違いない。瀬留教会で毎年祝われるブイジュ祭ほどの盛大さでなくても、普段のミサよりは少し盛大に祝う信仰の新しい歴史を刻んでほしいと思う。そのこともドロインで発信できたらなお素晴らしい。

## 今月から聖体礼拝開始

3月4日から5日にかけて行われた「主のためにささげる二十四時間」の締めくくりのミサで、司教は「毎月第一木曜日にミサ後、聖体礼拝をカテドラルで行いたい」との希望を述べた。そのため5月から実施する旨を先月の教区報で伝え、実施する側の確認不足から、改めて次のように行うことになった。

- (1)日時 毎月第一木曜 朝6時半のミサ後から午後6時まで 6月は2日
- (2)場所 カテドラル主聖堂
- (3)司式、6月は司教

## キッペス神父の黙想会

他者にイエズスを見る

7月16日(土)18時~18日(月)16時30分  
場所: マリア山荘(霧島市溝辺町3626-4)  
参加費: 15,000円(宿泊代・食事代含む)  
申込先: 福沢智子 Tel.090-2083-9223  
メール: fuku-h@ml.satsuma.ne.jp

※お詫び  
先月の聖体礼拝に参加するためカテドラルにいられた方に深くお詫び申し上げます。事務局 末吉

## +KABAYAN SEKSYON+ Hesus: Bukal ng Pag-ibig para sa mga Dukha

Ang ating "pakikipagtagpo kay Hesus" ang batayan ng ating "pag-ibig sa mga dukha." Ang katalusang ito ay pangunahin, gaya ng itinuturo ng ating mga Obispo, para sa isang tunay na pagtugon sa ating mga kapatid na nangangailangan. Kapag personal nating nakatagpo si Hesus, ganap nating natuklasan "ang galak na nagmumula sa Ebanghelyo at sa pagbabahagi natin ng Ebanghelyo." Sa isang salita, mula sa ating pakikipagtagpo kay Hesus dumadaloy ang gating hangarin at paninindigan na makatagpo ang iba'lalo na ang mga mahihirap.

Hinihikayat tayo ni Papa Francisco na makisangkot sa "dobleng pakikipagtagpo" ito. Inaanyayahan niya tayo, gaya ng binabangit sa pastoral na panghihikayat ng CBCP na magbalik kay Hesus, "ang Diyos na kinakatagpo tayo sa krus, sumisilip sa ating mga puso na may pagmamahal, tinatangap tayo nang walang pasubali, at nararanasan natin sa malalim na paraan. Ang pag-ibig ang siyang humihimok sa ating tugon ng pag-ibig." Sadyang walang ibang malakas na motibasyon na aantig sa ating mga puso para tapat na mahal in at paglingkuran ang mga nangangailangan.

Sa balangkas ng mga salita ng Spiritual Exercises ni San Ignacio, hinahamon natin ang ating sarili: "Kung sa pag-ibig ginawa mo ito para sa akin, Panginoon, ano ang ginawa ko para sa iyo? Ano ang kailangan kong gawin para sa iyo? Ang mga katanungang ito ni San Ignacio ay isang hamon para sa ating lahat na mga Kristiyanong kung paano natin maisasabuhay ang mga salitang ito ng pag-ibig sa mga dukha. Ang ating Panginoon Hesus ang unang nagpakita ng kanyang pag-ibig sa ating lahat. Inalay niya ang kanyang sarili para sa ating lahat na maranasan natin ang kanyang dakilang pag-ibig na yon din ang dakilang pag-ibig ng Diyos Ama na nasa langit. Ang pag-ibig ng Diyos ang nagbibigay ligaya sa ating mga puso at espirito. Kaya tayo din ay dapat na magmahalan sunod sa kautusan at kalooban ng Diyos. *Katesismo sa Taon ng mga Dukha (Fr. Dino Orolfo)*

## 会と催し (6月)

- 3日(金) イエスのみ心
- 4日(土) 司祭のマリア運動・ザビエル教会・13時
- 5日(日) 年間第十主日
- 6日(月) 修道女連盟総会と研修会・教区本部及びザビエル教会・10時
- 11日(土) 三教区合同黙想会・大分教区・10時
- 11日(土) ME鹿兒島・教区本部・13時30分
- 12日(日) いくしみの集い・ザビエル教会・14時
- 12日(日) 年間第十一主日
- 19日(日) 障がい者共に捧げるミサ・谷山教会・15時
- 19日(日) 奄美カトリック女性連盟総会
- 19日(日) 年間第十二主日
- 21日(火) 教区巡礼委員会・教区本部・19時
- 24日(金) 洗礼者聖ヨハネの誕生
- 25日(土) 山口重義神父叙階記念(一九七二年)
- 26日(日) 年間第十三主日
- 27日(月) 聖ペトロ使徒座への献金
- 27日(月) オリーブの会・教区本部・14時
- 27日(月) 司祭評議会・教区本部・14時
- 28日(火) 教区司祭会・教区本部・16時
- 28日(火) コンベンツス・教区本部・10時
- 29日(水) 聖ペトロ 聖パウロ使徒
- 29日(水) ムイベルガ神父叙階記念(一九六九年)
- (霊名ペトロ) 竹山昭神父、永山幸弘神父
- (霊名パウロ) 郡山健次郎司教、糸永真一名誉司教、小隈憲士神父、アン神父、坂本進神父、貴島丈弥神父

## 祈りの意向

- 【ノベナ】 障害者のため(6日~15日)
- 【祈祷の使徒会】 世界共通・連帯
- 宣 教・神学生と修練者
- 日本の教会・司教団のため

# 2015年鹿児島教区現勢報告 ついに9000人を割る

2015年12月31日現在の鹿児島教区の教勢がまとまった。

それによると信徒数は8971人(男性3397人、女性5574人)で、1978年から37年間続いてきた9000人を割り込む残念な報告となった。しかしこれは受洗者数がほとんど伸びてない状況とこれまでの教会を支えてきた信徒が高齢化し帰天するようになったこと、また小教区司牧を担当する司祭たちによる台帳の整理などにより実態に合った数が出てきたとも考えられる。

2015年の報告で特に目立ったのが居所不明者の増加。一般社会と同じように教会共同体においても人間関係が希薄となり、教会の構成員である信徒の移動等を信徒同士が、また司祭が把握できない状態になっていることが明らかになっている。また信徒が移動の際

に守るべき手続きを怠っているということもそうだと見える。

また主日のミサの参列者は、小規模教会を除くと始良教会や谷山教会、大熊教会、入来教会などで30%を超えているものの、教区全体では23%余り。また3割の教会で10%台という結果となった。今後の主任司祭をはじめとする小教区での寄り添う姿勢への取り組みが問われている。

このほか伸び悩んでいるのは、求道者の数と教会学校の子供たちの数。教会の未来の希望となる数がほぼ横ばいでは、教区においても教会全体においても困難な時代に入ったと言わざるを得ない。

2015年12月31日現在

| 教会名  | 信徒数         |     | 死   | 信徒の移動 |     | 主日ミサ参列者 | 洗礼 | 聖  | 求道者 | 教会学校(小・中学生) |     | 教会学校(中学生) |    | 教会学校(高校生以上) |    |
|------|-------------|-----|-----|-------|-----|---------|----|----|-----|-------------|-----|-----------|----|-------------|----|
|      | 総数          | 不明  |     | 転入    | 転出  |         |    |    |     | 信           | 徒   | 信         | 徒  | 信           | 徒  |
| 阿久根  | 46 (15)     | 0   | 9   | 0     | 0   | 32      | 0  | 2  | 2   | 0           | 0   | 0         | 0  | 0           | 0  |
| 出水   | 179 (71)    | 0   | 0   | 6     | 4   | 30      | 1  | 0  | 0   | 1           | 33  | 33        | 0  | 0           | 0  |
| 入来   | 90 (28)     | 0   | 1   | 0     | 1   | 28      | 0  | 0  | 0   | 0           | 0   | 0         | 0  | 0           | 0  |
| 大口   | 149 (52)    | 10  | 0   | 1     | 4   | 35      | 0  | 2  | 12  | 0           | 2   | 2         | 2  | 0           | 0  |
| 川内   | 313 (124)   | 13  | 2   | 5     | 2   | 60      | 4  | 0  | 4   | 1           | 1   | 1         | 0  | 0           | 0  |
| 鹿屋   | 263 (100)   | 36  | 0   | 0     | 1   | 65      | 0  | 1  | 0   | 0           | 0   | 0         | 0  | 0           | 0  |
| 国分   | 176 (74)    | 4   | 0   | 0     | 0   | 35      | 0  | 1  | 1   | 0           | 4   | 4         | 3  | 3           | 2  |
| 志布志  | 94 (33)     | 0   | 0   | 0     | 0   | 30      | 0  | 0  | 0   | 0           | 0   | 0         | 0  | 0           | 0  |
| 垂水   | 8 (3)       | 7   | 0   | 3     | 5   | 8       | 0  | 0  | 0   | 11          | 0   | 0         | 0  | 0           | 0  |
| 始良   | 206 (88)    | 7   | 0   | 0     | 60  | 70      | 0  | 0  | 0   | 1           | 2   | 2         | 2  | 1           | 1  |
| 指宿   | 87 (30)     | 0   | 0   | 0     | 0   | 15      | 0  | 0  | 0   | 0           | 0   | 0         | 0  | 0           | 0  |
| 加世田  | 135 (55)    | 3   | 2   | 3     | 5   | 25      | 4  | 2  | 2   | 0           | 0   | 0         | 0  | 0           | 0  |
| 鴨池   | 508 (208)   | 48  | 7   | 9     | 12  | 110     | 1  | 0  | 0   | 14          | 5   | 10        | 0  | 0           | 0  |
| ザビエル | 1023 (341)  | 203 | 11  | 5     | 7   | 250     | 5  | 11 | 9   | 29          | 29  | 29        | 7  | 7           | 6  |
| 谷山   | 802 (319)   | 32  | 4   | 7     | 5   | 250     | 2  | 3  | 1   | 1           | 4   | 6         | 1  | 2           | 1  |
| 玉里   | 252 (102)   | 14  | 2   | 5     | 2   | 50      | 0  | 0  | 0   | 0           | 6   | 6         | 2  | 2           | 0  |
| 紫原   | 172 (67)    | 22  | 3   | 0     | 1   | 35      | 0  | 0  | 0   | 2           | 6   | 27        | 0  | 0           | 0  |
| 吉野   | 290 (128)   | 54  | 1   | 75    | 3   | 40      | 0  | 1  | 0   | 0           | 7   | 8         | 0  | 0           | 0  |
| 種子島  | 59 (24)     | 19  | 1   | 4     | 29  | 20      | 5  | 1  | 0   | 0           | 0   | 0         | 0  | 0           | 0  |
| 溝辺   | 39 (16)     | 0   | 1   | 1     | 0   | 13      | 1  | 5  | 4   | 3           | 0   | 0         | 0  | 0           | 0  |
| 大笠利  | 534 (209)   | 54  | 10  | 1     | 33  | 100     | 0  | 0  | 0   | 1           | 5   | 5         | 0  | 0           | 0  |
| 小宿   | 314 (117)   | 0   | 2   | 1     | 7   | 50      | 0  | 2  | 2   | 0           | 0   | 0         | 0  | 0           | 0  |
| 古仁屋  | 116 (27)    | 106 | 8   | 11    | 7   | 15      | 0  | 1  | 1   | 0           | 0   | 0         | 0  | 0           | 0  |
| 瀬留   | 371 (149)   | 0   | 13  | 17    | 1   | 92      | 1  | 2  | 2   | 0           | 0   | 0         | 0  | 0           | 0  |
| 大熊   | 578 (262)   | 8   | 8   | 0     | 10  | 198     | 0  | 0  | 10  | 2           | 8   | 8         | 0  | 0           | 0  |
| 古田町  | 740 (253)   | 45  | 3   | 0     | 0   | 150     | 0  | 0  | 0   | 0           | 7   | 7         | 10 | 10          | 2  |
| 聖心   | 807 (308)   | 38  | 16  | 4     | 4   | 230     | 2  | 6  | 15  | 2           | 14  | 14        | 8  | 8           | 0  |
| 徳之島  | 445 (150)   | 0   | 12  | 2     | 2   | 56      | 1  | 5  | 0   | 0           | 4   | 11        | 0  | 0           | 0  |
| 和泊   | 175 (44)    | 3   | 0   | 2     | 0   | 10      | 0  | 0  | 0   | 1           | 0   | 0         | 0  | 0           | 0  |
| 計    | 8971 (3379) | 726 | 116 | 162   | 205 | 2102    | 27 | 45 | 65  | 71          | 137 | 173       | 35 | 36          | 12 |
|      |             |     |     |       |     |         | 72 |    |     |             |     |           | 36 |             | 13 |

| 司教 | 教区司祭(日本人) | 教区司祭(外国人) | 教区終身助祭 | 宣教修道司祭(日本人) | 宣教修道司祭(外国人) | その他司祭(外国人) | 修道士(日本人) | 修道士(外国人) | 修道士(日本人) | 修道士(外国人) | 修練者・志願者 | 教区大神学生 | 男子一般信徒 | 女子一般信徒 | 信徒合計 |
|----|-----------|-----------|--------|-------------|-------------|------------|----------|----------|----------|----------|---------|--------|--------|--------|------|
| 2  | 20        | 7         | 6      | 8           | 4           | 1          | 1        | 3        | 2        | 3        | 3       | 9      | 7      | 4      | 8971 |
| 29 | 40        | 21        | 3      | 3           | 1           | 1          | 3        | 3        | 3        | 3        | 3       | 3      | 3      | 3      | 3    |

ヨハネ福音書にのみ描かれている「姦通の女」を読み解くにあたっては注意が必要(8・11)。

に守るべき手続きを怠っているということもそうだと見える。

このほか伸び悩んでいるのは、求道者の数と教会学校の子供たちの数。

この話を読むと、宗教的権威者たちの「イエスを試して、訴える口実を得るため」という悪意がわかります(8・6)。もし、

## 鈴木神父のやさしい言葉 姦通を巡って

現代の「姦通」とは意味が違います。当時の姦通とは既婚の女性が男性と二人きりで会うことだったので、このことはダニエルの補遺にある「スザンヌ」を思い出しもらえれば明らかとなります。また、無実であったスザンヌを下敷き

イエス様が姦通を犯したとされる女を律法により石打ちの刑に処せ、と命じた場合、それはローマの法律に反することになります。なぜなら、ローマ帝国の属州

であるユダヤでは独断で死刑判決を下せないからです。反対に、石打ちの刑に処すな、と命じた場合、律法に反することになります。

6)。このイエス様の行為はこの女を訴えていた宗教的権威者たちに対する痛烈な批判でした。当時のローマ帝国では死刑に処する場合は、原告と被告の面前で判決文を書いたようです。と

女が裸のまま群衆の前に連れ出されて云々とか、女性のみが訴えられる当時の不平等な社会がかんぬんといつたイメージを先行させた解釈はまったく成り立ちません。この話では人間が人間を裁くことはできないという事、また、人を裁くのではなく赦すことが神様の御心であることが語られています。こうして罪に定められないという言葉を込められていると考えられます(8・11)。

**第6回 諸宗教対話担当者養成コース参加者募集案内**

10月13日(木) 18時～  
17日(月) 8時(朝食まで)

場所：真命山(玉名郡和水町蜻浦1391-7)

会費：5万～6万円(参加者数で変動)

申込締切 7月31日

連絡先 F・ソットコロノラ  
TEL 0968 (85) 3100  
FAX 0968 (85) 3186  
メール：shinmeizan@gmail.com

**第19回 日本臨床パストラルケア研究会**

テーマ：「いのち」～受けとり、寄り添い、受け継いでいく～

日時：2016年6月25日(土)～26日(日)

場所：長崎カトリックセンター(長崎市)

教育講演①「『このとりのゆりかご』を設置して思うこと」  
慈恵病院理事長 蓮田太二先生

教育講演②「スピリチュアルな苦悩の構造について」  
外旭川病院医学博士 嘉藤茂先生

特別講演「美しい人生を終わるための協力とは」  
上智大学グリーンケア研究所 高木慶子先生

参加申込み・お問い合わせ 参加費：5,000円

臨床パストラル教育研究センター ☎045-508-9107

お申込みは、「臨床パストラル教育研究センター」のホームページからできます。

予定されていた「第19回日本臨床パストラルケア研究会イン熊本」は、熊本地震の影響により、場所を変えて開催することとなりました。

**短歌**

国分教会 市来房枝  
「地震です」「地震です」  
とを繰り返す真夜中に鳴る携帯電話

鹿児島純心 川上 和  
ガリラヤの弟子ら見つめる  
青い空輝く雲に力託せり  
軽やかに攻撃一球一直線  
声あがる乙女のフォルテ

鳴池教会 前田儀子  
陽が落ちてさやくく澄める  
水色の刻を犬連れポストへ急ぐ  
謎の如く砂に顔出し埋め

**俳句**

鹿児島純心 川上 和  
復活の栄光たえ春暮るる  
白衣の春の笑顔や幸をよぶ

吉野教会 徳永ノブ子  
日曜ミサ青葉の吉野路バス走る

国分教会 政ノブ子  
放流の鮎の稚魚飛ぶ天降

**文芸**

ひ描く  
らるる犬をゴヤは何おも  
ひ描く  
始良教会 川口節子  
主の真理求め続けて終活  
に再び生れて愛に生きたし